千代田区建築物環境計画書制度 環境評価書(住宅)

- 協議完了時
- □変更時
- □ 工事完了時

建築物の名称 CLH60 須賀様邸 新築工事

建物用途	賃貸集合住宅	敷地面積	167.49 m ²
建築物の所在地	千代田区神田神保町三丁目1-13、-14、-15	建築面積	118.35 m ²
		延床面積	577.40 ㎡ : 計算対象 517.33 ㎡
		階数	地上 5階 地下 0階
竣工日	2025年7月19日	構造、総戸数	S造 7 戸

省CO2効果

削減率

36 %

特別優良環境建築



■ 高効率給湯機

■ 小流量シャワー

■ 手元止水

■ 水優先吐水

☐ HEMS

□ その他



省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量 314.6 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 198.3 [GJ/年] BEI(設計値/基準値) 0.64 共用部の計算 対象

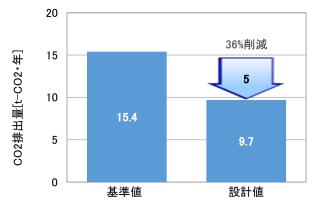
CO2排出量

 基準値
 15.4 [t-CO2・年]

 設計値
 9.7 [t-CO2・年]

 削減量
 5 [t-CO2・年]

 削減率
 36 %



省CO2設備手法

- 高効率エアコン
- □ 駐車場換気量制御
- □ 機械室換気量制御
- □ 全熱交換器
- □ 自然換気(自動制御)
- 高効率電動機
- LED照明
- □ 人感センサ
- □ 明るさセンサ
- □ スケジュール制御
- □ 初期照度補正

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- □ 複層ガラス
- □ 二重サッシ
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- □ 地域冷暖房(DHC)の受入
- ☐ AEMS
- □ その他

浸水対策

- ハザードエリア内
- □ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- □ 出入口等における止水板の設置
- その他

(計画地の東側の舗装を玉石敷とする。)

創エネ手法

- □ コージェネ
- 太陽光発電
- □ その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- □ 下水熱
- □ 太陽熱利用 □ その他
- □ 河川水熱
 □ 地下鉄排熱
- □ 地中熱

環境負荷低減の取り組み

- □ 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- □ 被覆対策
- 水循環

□ 地中熱

千代田区建築物環境計画書制度 環境評価書(非住宅)

□変更時

□ 工事完了時

建築物の名称 CLH60 須賀様邸 新築工事

建物用途	飲食店	敷地面積	167.49 m ²
建築物の所在地	千代田区神田神保町三丁目1-13、-14、-15	建築面積	118.35 m ²
		延床面積	577.40 ㎡: 計算対象 60.07 ㎡
		階数	地上 5階 地下 0階
竣工日	2025年7月19日	構造	S造

省CO2効果 省エネルギー基準 基準一次エネルギー消費量 削減率 0.0 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 0.0 [GJ/年] 0 % BEI(設計值/基準值) 0.00 CO2排出量 基準値 0.0 [t-CO2·年] 設計値 0.0 [t-CO2·年] 0 [t-CO2·年] 削減量 削減率 0 % 1.0 8.0 202排出量[t-C02· 0.6 0.4 0.2 0%削減 0.0 — 0 — 設計値 基準値 省CO2設備手法 省CO2建築手法 ■ Low-E複層ガラス □ 高効率分散熱源 □ LED照明 □ 高効率中央熱源 □ 複層ガラス □ 庇・ルーバー・バルコニー □ 高効率空調機(中央熱源) □ 人感センサ ■ 外壁高断熱化 □ 変流量制御(中央熱源) □ 大温度差送水(中央熱源) □ 明るさセンサ □ 変風量制御(中央熱源) □ 外気導入量制御 □ スケジュール制御 面的エネルギー活用 □ 外気冷房 □ 自然換気(自動制御) □ 初期照度補正 □ 地域冷暖房(DHC)の導入 □ 全熱交換器 □ 高効率給湯機 □ 地域冷暖房(DHC)の受入 □ 高効率電動機 □ 自動給湯栓 □ 熱融通 □ 小流量シャワー □ 雷力融诵 □ 送風量制御 ☐ BEMS ☐ AEMS □ その他 □ その他 浸水対策 創エネ手法 ■ ハザードマップエリア内 □ コージェネ □ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置 □ 太陽光発電 □ 出入口等における止水板の設置 □ その他 ■ その他 (計画地の東側の舗装を玉石敷とする。) 未利用・再生可能エネルギー活用 環境負荷低減の取り組み □ 下水熱 □ 太陽熱利用 □ 緑の量・質の確保、生態系への配慮 □ 河川水熱 □ その他 □ 被覆対策 □ 地下鉄排熱 ■ 水循環